

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【公開番号】特開2010-185666(P2010-185666A)

【公開日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2009-28066(P2009-28066)

【国際特許分類】

G 0 1 L 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 L 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月21日(2011.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流体の圧力に応じた角度で回転する指針と、前記指針の回転軌跡に沿って前記指針により指示される圧力目盛が付された目盛板とを有する圧力計であって、

前記目盛板と前記指針とを備え、流体の圧力に応じて前記指針を回転させる圧力測定器が設けられた圧力計本体と、

前記目盛板を外部に露出させる円形の案内孔が形成され、前記圧力計本体に装着される正面壁と、

前記圧力目盛に沿って円弧状に延びるとともに一端側に第 1 の表示部が設けられ、前記案内孔に沿って前記正面壁に摺動自在に装着される円弧状の使用圧力表示部材と、

前記正面壁に回転自在に装着され前記使用圧力表示部材と前記目盛板を覆う透明カバーと、

前記透明カバーに設けられ、前記使用圧力表示部材に設けられたガイド部を前記案内孔との間に組み込むとともに前記透明カバーの回転に伴って前記ガイド部を案内するガイド部と、

前記圧力目盛に沿って円弧状に延びて前記透明カバーに設けられ、一端側に第 2 の表示部が設けられた非透明の遮蔽部と、

前記透明カバーに設けられ、前記使用圧力表示部材に設けられた従動用の爪部に当接して前記使用圧力表示部材を追従回転させる駆動用の爪部とを有し、

前記透明カバーを介して前記使用圧力表示部材を一方向に回転させて前記第 1 の表示部の位置を設定し、続いて前記透明カバーを逆方向に回転させて前記第 2 の位置を設定し、前記使用圧力表示部材のうち前記遮蔽部により覆われない領域を前記透明カバーを介して外部に表示することを特徴とする圧力計。

【請求項 2】

請求項 1 記載の圧力計において、前記透明カバーの前記ガイド部は前記透明カバーの内面から内部に突出し、前記使用圧力表示部材は透明カバーの背面に対向する表示帯部を有し、前記使用圧力表示部材の前記ガイド部は前記表示帯部の内周面から後方に向けて突出することを特徴とする圧力計。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載の圧力計において、前記透明カバーに回転操作用の操作部を設け

ることを特徴とする圧力計。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の圧力計において、前記透明カバーの前記ガイド部に前記駆動用の爪部を複数個設け、それぞれの前記駆動用の爪部を前記正面壁の背面側に係合させて前記駆動用の爪部により前記透明カバーを前記正面壁に回動自在に装着することを特徴とする圧力計。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の圧力計は、流体の圧力に応じた角度で回動する指針と、前記指針の回動軌跡に沿って前記指針により指示される圧力目盛が付された目盛板とを有する圧力計であって、前記目盛板と前記指針とを備え、流体の圧力に応じて前記指針を回動させる圧力測定器が設けられた圧力計本体と、前記目盛板を外部に露出させる円形の案内孔が形成され、前記圧力計本体に装着される正面壁と、前記圧力目盛に沿って円弧状に延びるとともに一端側に第 1 の表示部が設けられ、前記案内孔に沿って前記正面壁に摺動自在に装着される円弧状の使用圧力表示部材と、前記正面壁に回動自在に装着され前記使用圧力表示部材と前記目盛板を覆う透明カバーと、前記透明カバーに設けられ、前記使用圧力表示部材に設けられたガイド部を前記案内孔との間に組み込むとともに前記透明カバーの回動に伴って前記ガイド部を案内するガイド部と、前記圧力目盛に沿って円弧状に延びて前記透明カバーに設けられ、一端側に第 2 の表示部が設けられた非透明の遮蔽部と、前記透明カバーに設けられ、前記使用圧力表示部材に設けられた従動用の爪部に当接して前記使用圧力表示部材を追従回動させる駆動用の爪部とを有し、前記透明カバーを介して前記使用圧力表示部材を一方向に回動させて前記第 1 の表示部の位置を設定し、続いて前記透明カバーを逆方向に回動させて前記第 2 の位置を設定し、前記使用圧力表示部材のうち前記遮蔽部により覆われない領域を前記透明カバーを介して外部に表示することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の圧力計は、前記透明カバーの前記ガイド部は前記透明カバーの内面から内部に突出し、前記使用圧力表示部材は透明カバーの背面に対向する表示帯部を有し、前記使用圧力表示部材の前記ガイド部は前記表示帯部の内周面から後方に向けて突出することを特徴とする。本発明の圧力計は、前記透明カバーに回動操作作用の操作部を設けることを特徴とする。本発明の圧力計は、前記透明カバーの前記ガイド部に前記駆動用の爪部を複数個設け、それぞれの前記駆動用の爪部を前記正面壁の背面側に係合させて前記駆動用の爪部により前記透明カバーを前記正面壁に回動自在に装着することを特徴とする。